



森づくりサポーターニュース

平成28年(2016年) 9月9日号

びわこ地球市民の森(森づくりセンター)

〒524-0102 守山市水保町2727 TEL 077-585-6333 FAX 077-585-6312
メールアドレス biwako@moridukuri.info URL <http://www.moridukuri.info>

生きものが共存できる豊かな森(ビオトープ)の創造

今年度の第2回森づくりサポーター活動を、去る7月23日(土)に開催いたしました。大変暑い日でしたが、サポーターの皆様には多数ご参加いただき本当にありがとうございました。

今号のテーマは、この森の森づくりのコンセプト(基本理念)の一つです。指定管理者のシダックス・ハウスビルグループでは、平成13年(2001年)の植樹スタート後、14、5年を経たこの時期の生きもの調査が必要と考え、26年度は水域(水路内)の外来生物調査(水生植物、魚類・両生類・は虫類)を、27年度は全域の鳥類・哺乳類調査を委託し、今年度は全域の植生調査と調査データの整理・考察等を専門家に委託しています。



森で確認されたキツネのつがい

雨不足でほとんど流れていない公園内の水路では、オオヨシキリのギョシギョシ、ケケチケケチというにぎやかなさえずりを聴かなくなりました。ようやく子育てが終わったようで、8月末から水辺のヨシ刈りや、ヒメガマ、セイタカアワダチソウ刈りが始められます。つどいのゾーン以北の下流では、外来種のチクゴスズメノヒエやオオフサモ、アゾラ(アカウキクサ)等で水面が覆われかけており、刈り取るなどしなければなりません。Vol.55(平成27年12月発行)号では、それらの水域外来生物調査の結果の一部を紹介しました。

皆様に間伐や枝打ちをしていただいた出会いのゾーンで、パトロール中にキジのつがいを見かけたことや、大きなスッポンが事務所前をのそのそと歩いていたこともありました。先日は、近くの知人が朝の散歩の途中で事務所に寄り、「今、里の森ゾーンの橋の上をキツネが走っていた。少し痩せていた。別の場所で



水路を泳ぐヌートリア

ヌートリアも数匹見かけた。」との話をされました。今号では、次ページに哺乳類の調査結果をまとめました。私たちは豊かな森づくりを目指しています。動物にとってこの森が3.2kmと長いのは良いのですが、100m~200mと細くてそのうえ都市公園という下枝や下草を刈り取り透かした構造の、まだ日の浅い緑地はいかにも住みづらいという結果が出ているのではないかと思います。

「びわこ地球市民の森」に暮らす哺乳類 ～「生きもの調査」結果報告～

森づくり活動や利活用の方法など森の適切な管理を図るとともに、生きものとの共存を目指した生物多様性の森を保全するため、平成27年度に5つのゾーン（森の南側から出会いのゾーン、里の森ゾーン、ふれあいゾーン、つどいのゾーン、ふるさとゾーン）全域で哺乳類の生息調査を実施しました。

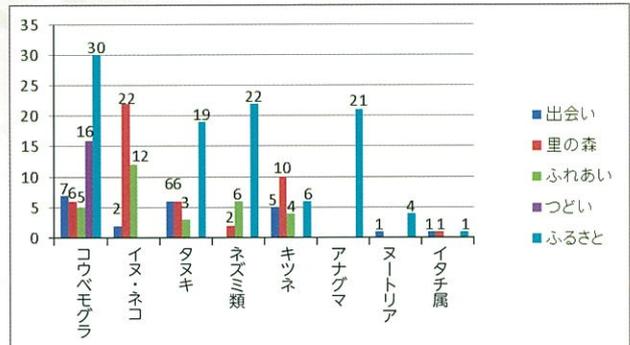
調査は、フィールドサイン法による痕跡調査のほか、自動撮影装置やシャーマントラップ（小型のわな）等を用いた方法で行い、その結果は以下のとおりでした。

確認された哺乳類

タヌキ、キツネ、ネズミ類など「4目7科11種」確認

| 目 | 科 | 種 |
|------|--------|----------------|
| モグラ | モグラ | コウベモグラ |
| コウモリ | ヒナコウモリ | アブラコウモリ |
| ネズミ | ネズミ | ヒメネズミ カヤネズミ |
| | ヌートリア | ヌートリア |
| ネコ | イヌ | タヌキ キツネ |
| | | イヌ |
| | イタチ | イタチ属 アナグマ |
| | ネコ | ネコ |
| 4 | 7 | 11 |

ゾーン別確認状況



- ・コウモリ（アブラコウモリ）は全てのゾーンで数多く確認されたので除外
- ・数字は確認数



タヌキのつがい



カヤネズミ



ヒメネズミ



アナグマ

調査結果を踏まえて

森は安全な移動経路や餌場・隠れ場としての役割

- ・小型のアブラコウモリ・コウベモグラ・ネズミ類、中型のタヌキ・キツネ・アナグマが多く確認された。周辺は宅地開発が進んでいるが、餌場となる耕作地や竹林も点在しており、それらの地点間の安全な移動や餌場・隠れ場としての役割を果たしている。

「ふるさとゾーン」は哺乳類の貴重な生息場所

- ・全体的に既存の森が残っているふるさとゾーンでの確認が多く、特に竹林ではアナグマの食跡やタヌキのため糞、ヒメネズミ等が見られ、貴重な生息場所となっている。

「ふるさとゾーン」以外は餌場・隠れ場としての利用は低い

- ・ふるさとゾーン以外のゾーンでは橋や歩道での確認が多く安全な移動経路となっているが、餌場・隠れ場としての利用は低い。林が若いこと、下草が少なく林内の見通しが良いことが原因と思われる。今後、下層植生を残すエリアを設定することも必要であると考えられる。

希少種のカヤネズミを発見

- ・「滋賀県レッドデータブック2010版」で希少種に選定されているカヤネズミにとって生息しやすい高茎草が点在するが、今後野草広場のエリアを広げるなど生息地を保全する必要がある。

特定外来生物ヌートリアに注意

- ・特定外来生物のヌートリアが確認され、今後増殖する可能性が高い。周辺の農作物に被害が出る前に早期の駆除対策が必要である。

第2回

「森づくりサポーター活動」

平成28年7月23日(土)に第2回森づくりサポーター活動が開催され、森づくりサポーターなど80名とガールスカウト15名の合計95名が参加されました。

真夏にしては、気温がやや低い良い日となり、森づくりサポーターのみなさんは、出会いのゾーン2007年植栽地で、7~8mに生長したエノキ、ムクノキ、ヤマザクラ、コブシなどの落葉樹約500本の枝落としと間伐に汗を流しました。

作業のあと、前号(森づくりサポーターニュース57号)で紹介した出会いのゾーンにある守山市で一番高い山(標高99mの築山)に登り、山の名前を皆の投票で「モリモリ山」と決めました。

ガールスカウトのみなさんは、「夏の森の楽しみ」をテーマにした自然教室で、色紙で作った紙飛行機を飛ばして、色紙の色とよく似た自然の物を探したり、草笛を吹いたり、四つ葉のクローバーを探しました。その後、森づくりサポーターの指導で「竹ポックリ」をつくりました。

活動後は、恒例のスイカをいただきましたが、汗をたっぷり流したあとだったので、とてもおいしく感じられました。また、子供たちのスイカ割りもうまく割れました。



▲開会式



▲枝落とし・間伐(大人)



▲自然教室(子供)



▲「モリモリ山」山頂(大人)



▲竹ポックリ(子供)



▲スイカ割り(子供)

森づくりトピックス

森の体験コーナーがおお賑わい

5月29日(日)の「びわこ地球市民の森のつどい2016」では、ふれあいウォークの樹名板づくりや森の良さを伝える体験コーナー(写真)の開催に、森づくりサポーター8団体(ふくの会、さんまる会、森楽、みいの会、32期園芸、レイカ33会、みろく会、レイカ36会)のみなさんが、協力くださいました。

準備には、時間と労力が相当かかりましたが、間伐木を利用したクラフト・丸太切り、森の竹を利用したポックリ・笛づくりなど、それぞれ工夫した出し物には、多くの人が訪れ賑わいました。協力いただいた団体のみなさんありがとうございました。



お知らせ

～第3回森づくりサポーター活動のご案内～

秋たけなわの絶好の季節に今年度第3回目のサポーター活動を開催します。今年も早めに活動を終え、今浜自治会主催の「コスモス祭り」に参加し、コスモス畑を鑑賞後、美味しい豚汁をいただくことになっています。多くの方のお越しをお待ちしています。

開催期日 2016年10月9日(日)
開催場所 びわこ地球市民の森(つどいゾーン)
活動内容 植栽地の育樹活動と自然教室など



編集後記

ふるさとゾーンに、この8月、新しくトイレが完成しました。

暑かった夏も終わり、本格的な秋のシーズンがやってきます。

森を訪れ、自然の空気を満喫しながら、生きものとのふれあいを楽しみませんか。

森のデータ

| | |
|---------------------------|-----------|
| 植樹面積 | 80,808 ㎡ |
| 植樹活動参加者数 | 45,994 人 |
| 植樹本数 | 160,967 本 |
| 森づくり活動参加者数 (平成27年度) | 11,460 人 |
| 内、サポーター活動 参加者数(平成27年度) | 2,991 人 |